

美濃白川夏秋トマト部会 新規就農者紹介(稲垣さん)

稲垣さん(令和5年就農)



【就農のきっかけ】

「老後は夫婦で一緒に仕事をしてみたい」その思いから、移住を考え、仕事を考え、たどり着いたのが「農業」でした。研修が充実し、勉強しながら独立していきけるこの地域で、トマト農家になろうと決めました。1年間、あすなる農業塾長のもとで管理作業の実践研修とJAや県の座学研修を受け、就農に至りました。

今は就農2年目、新しい栽培方法の取り組みにもチャレンジを始めました。まだまだ、日々の作業に追われ、楽しいと思えるほどの余裕はありませんが、充実した毎日を送っています。

【就農希望者の皆さんへ】

農業、特に家族経営型の農業では、人との関わりが少なく、孤独を感じるようなイメージですが、私達はそんなことはありません。地域の先輩方、農林事務所の普及員さん、JAの担当の方など、たくさんの方々にお支えいただき、今があります。実際に目で見ても、地域の雰囲気を知り、人との関わりを感じながら、ご自分の将来についてじっくりと検討されることをお勧めします。

就農や移住を考えているようでしたら、こちらへも一度お越しいただき、私たちの体験談も聞いてください。たくさん話したいことがあります。



あすなる農業塾長(研修先) 桂川さん

夏秋トマトの産地である岐阜県の中でも、最も小さい産地です。ひと口にトマトといっても多くの品種がありますが、ここでは昔から「桃太郎」という品種にこだわって栽培し、販売しています。また、産地を支える生産者の約半数は、移住者となっており、研修の受け入れから就農までの支援を行っています。

田舎に移住して、どうやって生活していくか？を考えた時、「トマト」は選択肢の一つです。まずは、こちらへ見学に来ていただき、移住者の体験談を聞いてみませんか？田舎暮らしのこと、トマト栽培の面白さ、難しさもいろいろな話をしましょう。そして、もしトマトを栽培して田舎暮らしをしていくことになれば、私たちが独立までサポートしていきます。



美濃白川就農応援会議

【連絡先】めぐみの農業協同組合 白川営農経済センター

TEL 0574-72-1031

担当: 桂川、藤井

JAめぐみの 美濃白川 トマト

検索